

# 大羽イワシ資源調査

担当者 技師 赤羽光秋

## I 調査目的

マイワシの来游状況ならびに環境生態を調査して、来游資源の究明をおこない、その合理的利用ならびに漁業者の経営安定に資する。

## II 調査内容

(イ) 場所 青森県日本海沿岸

(ロ) 調査期間 昭和42年5月12日～5月26日

(ハ) 調査項目および方法

a 項目 漁業観測, 漁獲試験, 魚体調査  
マイワシに関する情報収集

b 方法 試験船瑞鷗丸(40.81平 D160P.S)により漁場観測及び流網による漁獲試験を実施した。

## III 調査結果

5月15日から延3回の漁獲試験(延使用反数35反)を実施したが漁獲は皆無であった。

## IV 考察

日本海における漁況は、4月下旬山陰(鳥取)の施網で大中羽イワシの混獲がみられ、5月下旬には福井県の施網で大羽イワシの混獲がみられたが閑散であった。山形県・秋田県での水揚げは見られず、本県においても水揚げはみられなかった。

漁場観測結果では調査期間中の表層水温は13.0～14.7℃で平年よりやや高めの水温を示し、マイワシの正駆群来游の適水温としてはやや高めとも考えられたが、これにおける沿岸各地の漁況情報からも来游の兆は見られなかったことから、本年度のマイワシの来游資源量も極めて少なかったのではないかと思われる。